

の推進方策検討調査 特集1

自然環境の保全や回復に配慮した観光振興の推進について

1. 調査の目的

沖縄の美しい自然環境は、貴重な財産であると同時に重要な観光資源となっています。その保全や回復に配慮しながら観光振興を推進していくことが、沖縄観光を持続的に発展させるためには重要です。そこで観光分野での「カーボン・オフセット」の活用方策について検討し、更に、観光客等への方法、市町村、観光事業者の役割等の検討を行いました。

個人や企業の活動により排出されるCO₂のうち、どうしても削減できないCO₂の全部（一部）を何らかの代替行為により埋め合わせることをいいます。

2. 沖縄型カーボン・オフセット旅行を進めるには

基本的な考え方
沖縄型カーボン・オフセット旅行は、地球温暖化防止の役割を担うのと同時に、沖縄の自然環境の保全や回復に関する活動への支援にも貢献することを目標としています。ただし、旅行ではある種の解放感や贅沢感が求められるため、過度に教育的・強制的であることを避け、手軽に楽しく取り組めるような工夫が必要となります。

【沖縄型カーボン・オフセット旅行の目標像】

CO₂をなるべく出さない
自然環境の保全・回復に役立つ
出したCO₂を手軽に、楽しみながらオフセット

沖縄型カーボン・オフセット旅行の枠組み

前述の目標像をもとにする
と、様々な旅行場面においてCO₂削減やオフセットする機会を提供し、地球温暖化防止と観光客の満足度向上を両立することが重要となります。その考え方を旅行商品にて明示化するため4つの要素として、「削減努力」「費用負担」「環境学習」「オフセット行為」を設定しました。実際に旅行商品となる際は、この4つの要素が様々に組み合わせられることになります。

case1 削減努力

CO₂をなるべく排出しない削減努力のみを行う旅行です。カーボン・オフセットの前提となる重要な要素であり、省エネやゴミの減量など手軽な取り組みから、ハイブリット車の利用など費用を伴うものまでがあります。

case2 削減努力 費用負担

削減努力に加えて、費用を負担することで、排出されたCO₂の全部または一部を回収する旅行です。費用の負担のみで環境貢献をしたい人や、時間に余裕がない人が想定できます。

case3 削減努力 費用負担 環境学習

削減努力を行い、費用負担もするが、それだけでなく環境問題について理解を深める活動も楽しむ旅行です。環境学習を通して、環境への意識を啓発することにより、日々の行動様式を振り返り、CO₂をなるべく出さないよう意識付けをします。

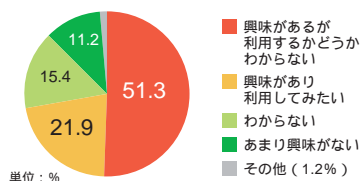
case4 削減努力 費用負担 環境学習 オフセット行為

削減努力を行い、費用も負担し、啓発的な環境学習が進展して、実質的にCO₂を吸収・削減する活動を行う旅行です。費用・活動の両面で行うため効果は高く、一般的なカーボン・オフセット旅行のイメージに最も近い形となります。

3. 観光客のニーズ

実際に沖縄型カーボン・オフセット旅行を展開していくには、観光客のニーズに対応した

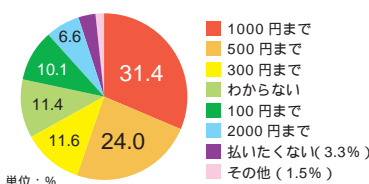
Q. カーボン・オフセット旅行についてどう思いますか？



A. 約7割がカーボン・オフセット旅行に興味あり

カーボン・オフセット旅行については、約7割が興味を持っていました。しかし、実際に利用してみたい人は約22%と少なく、「わからない」とする人も約15%となっています。認知度がまだ低いので、参加意欲を持ちにくいと考えられます。

Q. 1回の沖縄旅行で実際に払ってもよいオフセット費用はいくら？



A. 費用負担額は500円～1000円

オフセット費用の額は、500円まで、1,000円までの範囲であれば、負担しやすいと考えられます。「払いたくない」は約3%であることから、自然環境に貢献するのであれば、ある程度費用を負担してもよい考えであるといえます。

様々な可能性を検討する必要があります。そこで、カーボン・オフセット旅行に関する意識及びニーズを把握するため、沖縄を訪れる観光客を対象にアンケート調査を実施しました（有効回答456件）。

→ テストプランの方向性

1. 様々な旅行目的とカーボン・オフセットを組み合わせた、新たな観光の魅力を提供
2. 各年代のニーズに対応したプログラムを提供
3. 沖縄型カーボン・オフセット旅行の推進に向けて、県内の関係企業・団体が関心を持てるような内容
4. 一定のオフセット効果があり、カーボン・オフセットの仕組みを県内・観光客に啓発できる内容

沖縄型カーボン・オフセット旅行の導入を進めるにあたり、各年齢層に関心の高いイベントや環境活動にカーボン・オフセットを組み合わせたテストプランを検討しました。

4・旅行プログラムのイメージ

年配層に対するテストプラン (ロングステイ型プラン)

50代以上の夫婦を想定し、沖縄の離島などでのんびり過ごすロングステイのある一日に、カーボン・オフセットの要素を取り入れたライフスタイルを例示します。

1人あたり
約 **32kg-CO₂**
のCO₂を排出



- フェリー利用による1人当たりのCO₂排出量
- 宿泊施設1泊分（電気、ガス使用など）の1人当たりCO₂排出量

削減努力

- ・アシスト自転車の利用
- ・節電、節水
- ・環境に配慮した宿泊施設の利用

費用負担

- ・旅行代金の一部でクレジットを購入

環境学習

- ・地域の歴史や文化に触れ合いながら、先人の知恵を学び、環境に配慮した生活スタイルを学習

オフセット行為

- ・削減努力の結果、どうしても削減できなかったCO₂排出量をクレジットの活用によりオフセット

家族層に対するテストプラン (エコツアー型プラン)

30～40代の親子連れを想定して、夏休みなどに親子で地球温暖化を考える機会の提供をします。

1人あたり
約 **28kg-CO₂**
のCO₂を排出



- 移動（車、バスなど）でのCO₂排出量
- ホテル1泊分（電気、ガス使用など）の1人当たりCO₂排出量

削減努力

- ・ハイブリット車の利用
- ・エコドライブやアイドリングストップの実施
- ・環境に配慮した宿泊施設の利用

費用負担

- ・エコツアー代金の一部でクレジットを購入
- ・植林活動への寄付

環境学習

- ・植林を通して、CO₂吸収の働きや植林活動の意義を理解
- ・おやつ作りでエコッキングを実践し、調理から片付けにおける省エネを体験

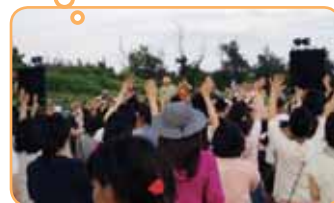
オフセット行為

- ・削減努力の結果、どうしても削減できなかったCO₂排出量をクレジットの活用によりオフセット
- ・植林によるCO₂の吸収

若者層に対するテストプラン (イベント参加型プラン)

10～20代の若者層が興味を持つ音楽イベントにカーボン・オフセットを取り込みます。

1人あたり
約 **27kg-CO₂**
のCO₂を排出



- イベント時の電力使用（発電機など）による1人当たりのCO₂排出量
- 移動時（車、バスなど）のCO₂排出量
- ホテル1泊分（電気、ガス使用など）の1人当たりCO₂排出量

削減努力

- ・ごみ分別回収ボックスの設置
- ・リユース食器の採用
- ・自転車や公共交通機関など環境負荷の少ない手段の利用の呼びかけ
- ・LPG燃料などのシャトルバスの活用
- ・節電、節水
- ・CO₂排出削減や環境に配慮した宿泊施設の利用

費用負担

- ・チケット代金の一部でクレジットを購入

環境学習

- ・イベント会場やその周辺の清掃活動、ビーチクリーンアップの実施
- ・グリーン電力の購入や移動式太陽光発電システムの導入による環境意識の啓発

オフセット行為

- ・削減努力の結果、どうしても削減できなかったCO₂排出量をクレジットの活用によりオフセット